

空と椿と木蓮と、  
そして花水木



mashita sakana

ツバキ（椿・海柘榴）

ツバキ科ツバキ属の1種

学名は *Camellia japonica*

日本原産の常緑樹

野生種の標準和名はヤブツバキ

照葉樹林の代表的な樹木

花期は冬から春にかけて

椿と山茶花の区別が未だにつかないのだけれど、  
どうでもいいことかな、とも思う。



何故かというと、

花は花として生まれいで

花の名は、人が勝手につけたものだから。

まして、わたしが名付けた物でなし。















































モクレン

本蓮、本蘭、*Magnolia quinquepeta* もしくは *Magnolia liliiflora*、  
モクレン目モクレン科モクレン属の落葉低木。  
花が紫色であることから、シモクレン（紫本蓮）の別名もある。

昔は「本蘭（もくらん）」と呼ばれていたこともあるが、  
これは花がランに似ていることに由来する。  
今日では、ランよりもハスの花に似ているとして  
「本蓮（もくれん）」と呼ばれるようになった。



だからこの場合は、白本蓮とすべきかもしれないが  
私は白い本蓮が好きなので、本蓮と言えば白にしている

花の名前なんて、好きに呼べばいいのだ  
この花だって、本当はコブシかもしれないし。





























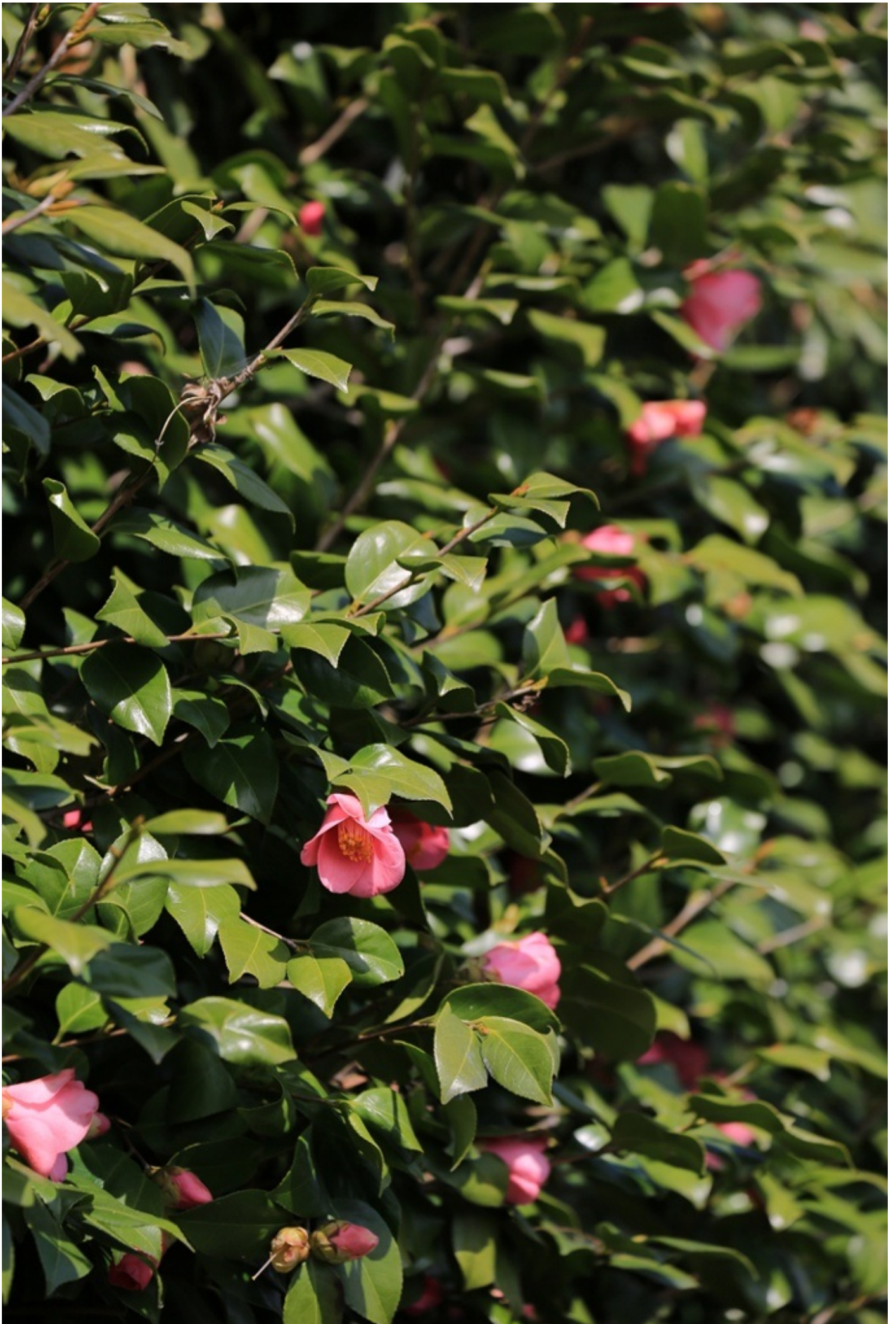






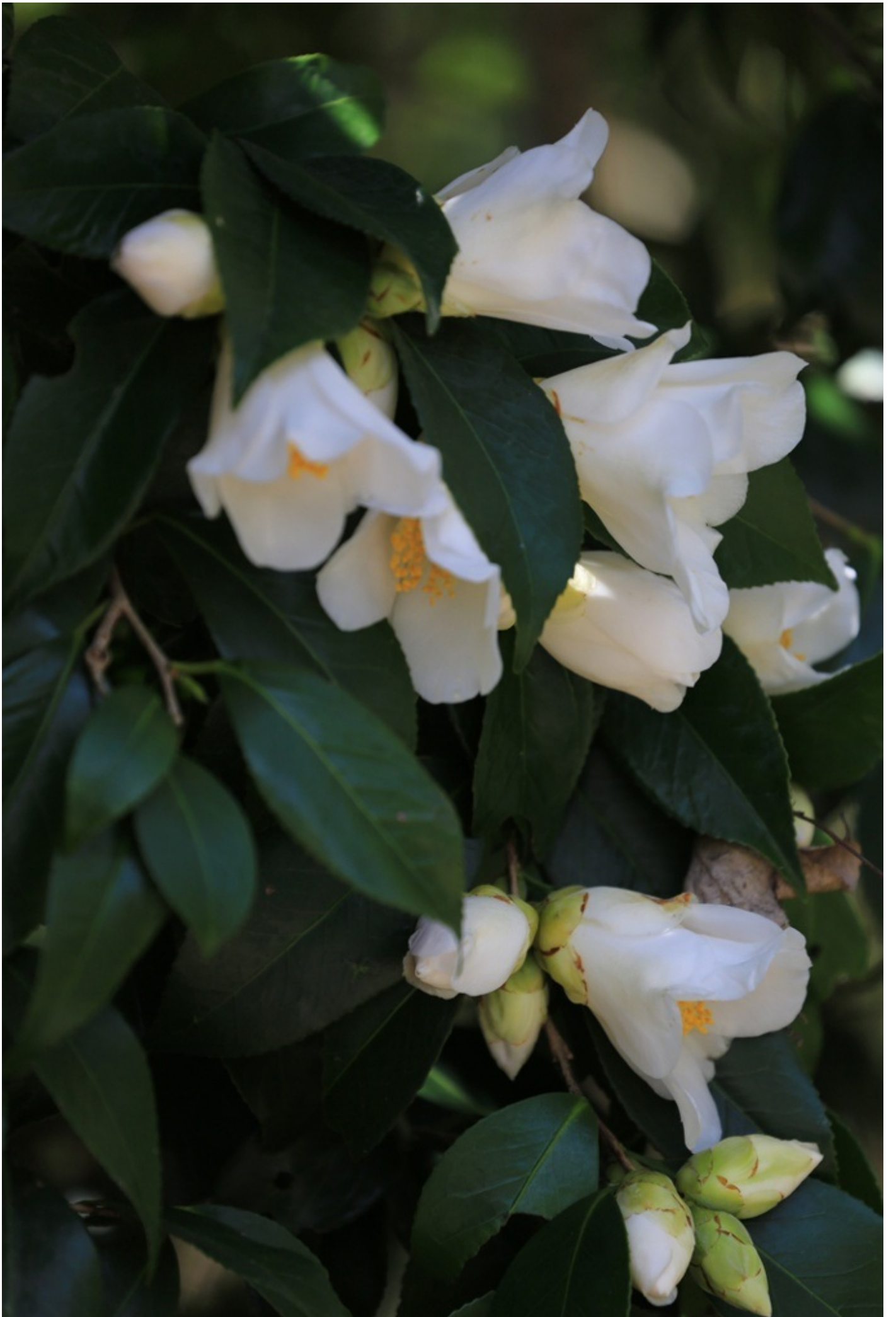




































































ハナミズキ

(花水木、学名：Benthamidia florida)

ミズキ科ミズキ属ヤマボウシ亜属の落葉高木。

北アメリカ原産。別名、アメリカヤマボウシ。

ハナミズキの名はミズキの仲間では花が目立つことに由来する。



花びらに見えるのは、総苞というものらしい。

でも、それは学者のこだわりで、花は花だ。

私にはこれが、光を受けようとする両手の形に見える。























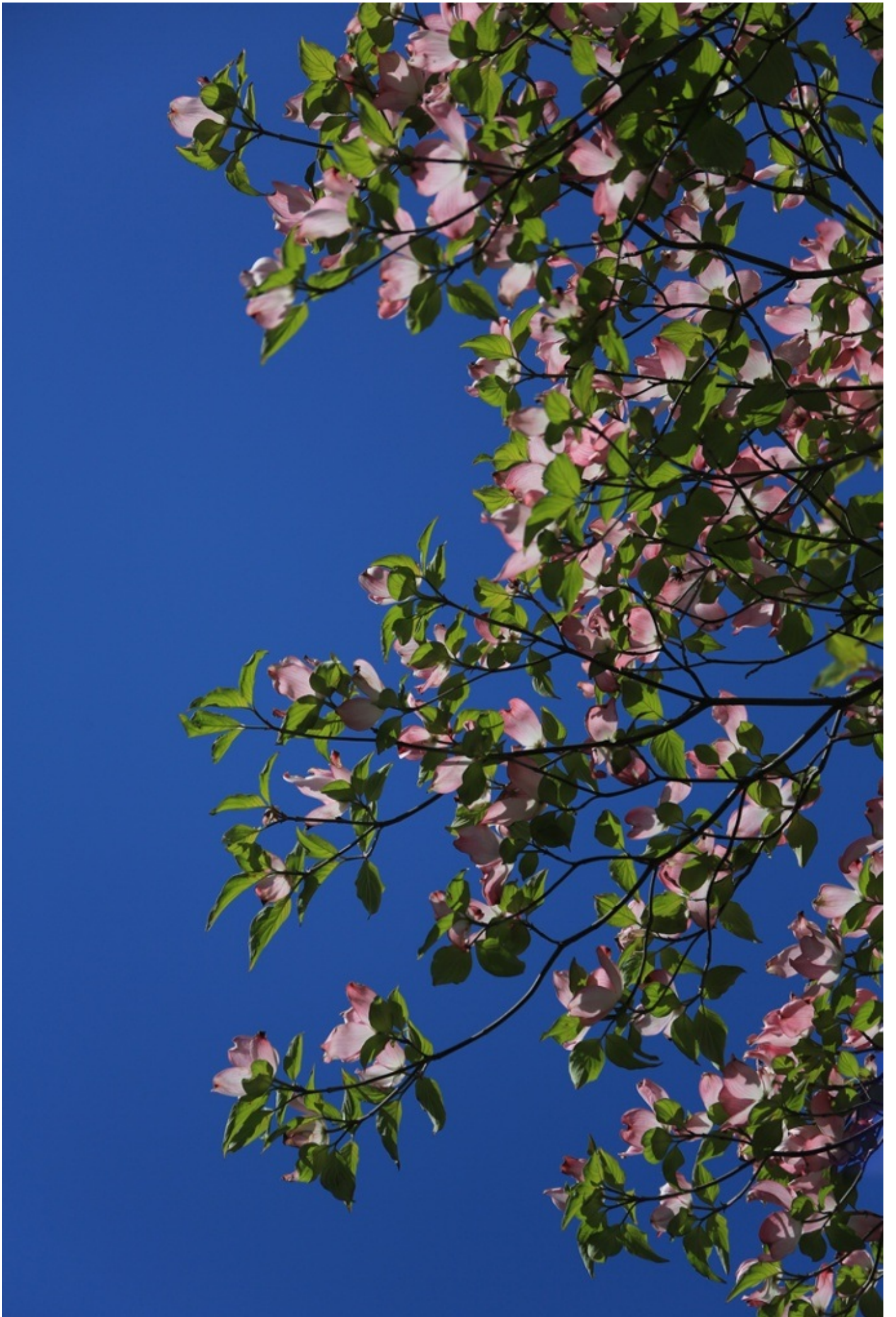






















ああ、猫になりたい。。。。

写真集「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」

連載中 「ネガティブズ」

写真集「空と雲と、ときどき春の野に行く」

写真集「空と月と、夜桜デート」

写真集「空と木と、ときどきの梅暦」

写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」

写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」

写真集「空と木とたまに月」

写真集「からくれないに」

「黄金の麦畑」

1.Largo

第1回 ～ 第41回

「黄昏の王国」

イーリアス編

アリシア編

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」

「僕と彼女の選択の事由（わけ）」

「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった。」

「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」

「僕と彼女と複雑な関係者たち」

「僕と彼女と単純な関係式」

「僕と彼女と校庭で」

「僕と彼女と校庭で 夏」

「僕と彼女のエリア」

「僕と彼女のインベンション」（次回）

— その他 —

傘がない

夕暮れの赤ちょうちん

いもうと

サマータイム・ブルーズ

危険なドライビングマジック

デフラグメント

インフルエンス あのころの僕たち

花舞い、名残り雪

詞画集「ただ憧憬だけを」

写真集「空と雲と、ときどき月」

写真集「夢みる桜」